



御園だより

令和7年度11月号
大田区立御園中学校
校長 古川 大輔



「話すこと」と「聞くこと」～みんなで安心して学べる環境をつくる～

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。朝の空気が少しずつ澄んでいく季節となりました。期末考査を終え、生徒のほっとした表情が見られました。特に、三年生は進路を決める節目の時期を迎え、これまでに身に付けたエージェンシー（主体性）とレジリエンス（粘り強さ）を発揮してくれているように感じます。みなさんのことを心から応援しています。学校はこれからも子どもたちの学びを支えてまいります。ご家庭でも、いつもと変わらない温かい声掛けで、お子様の背中をそっと押していただければ幸いです。

今月はいじめの未然防止や早期発見を重点的に指導する東京都の「ふれあい月間」、そして子どもの不安や悩みを早期に発見し、大人が子どもを支援する大田区の「子どもの心サポート月間」です。そこで、みんなで安心して学べる環境をつくるための話をします。

はじめに、先日の朝礼で全校生徒にお話しした「話すこと」と「聞くこと」の内容の一部をご紹介します。みなさんは自分の気持ちをうまく伝えられず、もどかしい思いをしたことはありませんか。話したいのに言葉が出てこなかったり、思いが伝わらず悩んだりするのは誰にでもあることです。そんなときこそ大切なのが、まず自分の気持ちを言葉に試みることです。話し合いや意見の違いがあるとき、つい自分の方が正しいと主張したくなることがありますが、正しいことを言うだけでは相手の心には届かないことがあります。本当に大事なものは、自分がどう感じたかを丁寧に真っ直ぐに伝えることです。「嬉しかった」「嫌だった」「悲しかった」などの短い言葉でも、気持ちを言語化することで相手の受け取り方は変わります。話す力をもつことは、人との関係だけでなく自分自身を守ることに繋がります。

一方、人の話を聞くことは、お互いの健康と安全を守ることに繋がります。授業中の私語は、たとえ小さな声であっても周りの学習や集中の妨げになります。だから、先生の発問や指示はしっかりと聞かなければいけません。聞く力をもつことは、自分のことだけでなく相手を守ることに繋がります。自分の思うように行動しながらも、周りの人に迷惑をかけない振る舞いができる、そんな態度を身に付けてほしいと思います。

次に、いじめのお話をします。いじめが発生する背景には、大きく分けて二つの間違った考え方、シンキングエラーが潜んでいます。ひとつは、自分の感じ方を相手に押しつけるシンキングエラーです。みなさんは「自分は平気だから相手も平気だろう」と思い込んだことはありませんか。悪気がなかったとしても、相手が傷付けばそれはいじめになることがあります。だからこそ、もし相手が「嫌だ」と言ったときは、素直に「ごめんね」と謝り、すぐに自分の言動を改めることが大切です。

もうひとつは、自分のいじめ行為を正当化しようとするシンキングエラーです。自分が「嫌なことをされた」と感じたとき、「自分は被害者だからやり返してもよい」と考えてしまうことがあります。しかし、それは相手を傷付けてよい理由にはなり得ません。では、どうすればよいのでしょうか。まず勇気を出して「嫌です」と相手に伝えてください。それが難しかったり、相手が聞いてくれなかったりしたときは、その場をそっと離れてください。自分だけで解決することが難しい場合は、先生など信頼できる大人に相談してください。また、いじめは学校の中だけで起こるものではありません。家庭でSNSなどを利用しているときの言葉ややり取りでも、相手を深く傷付けてしまうことがあります。インターネット上の言葉は、相手の表情が見えないからこそ、相手の気持ちを想像する力がより一層大切です。

いじめ防止の法律では、行為の意図は問われません。過失であれ故意であれ、相手が苦痛を感じれば、それはいじめに該当するとされます。いじめを生むのは「自分さえよければ相手が傷付いてもよい」という誤った考え方です。こうしたシンキングエラーに気付き、相手の気持ちを想像しようとする力が育てば、いじめは未然に防ぐことができます。これからもみんなで力を合わせて安心して学べる学校、そして、思いやりのある温かい環境をつくっていきましょう。

私たちはみなさんと学校を安心して気持ちを言葉にできる場所にしたいと考えています。そして、いつもみなさんの力になりたいと思っています。もし、自分だけでは解決が難しいことや困ったことがあれば、一人で悩まず信頼できる先生や大人に相談してください。

本校ホームページ「Misono Diary」に生徒の活躍、活動の様子を掲載しております。右上のQRコードよりご覧いただけます。また、X公式アカウント「御園中 日々の出来事」を随時更新しております。